

魅力あるまち③ ところざわ自慢 まつり



①市民文化フェア 4月

春爛漫の所沢航空記念公園で、文化交流を目的として行われるイベント。市民茶会、さくらコンサートなど様々な催しで賑わいます。



②ところざわまつり 10月

鎮守所澤神明社の秋の祭礼を起源に行われた祭り。見どころは12基の山車の共演。山車が囃子で競い合う曳っかわせは必見！

③市民フェスティバル 10月

秋の所沢航空記念公園で行われる市民手づくりの祭典。物産・飲食ブースなどの出店が軒を連ねるほか、ミニSL、太鼓、ダンスなど、参加型のイベント盛りだくさん。

民俗芸能

かつては、地域の神社や寺院の境内を中心として、祭礼や行事の際に、祭囃子や獅子舞のほか、鉦はり（双盤念仏）や説経節、万作踊りなど様々な芸能が行われ、奉納されていました。その中で今日まで伝承され、市指定の無形民俗文化財にもなっている民俗芸能が「重松流祭ばやし」と「岩崎獅子舞」です。

重松流祭ばやし

重松流祭ばやしは、所沢生まれの古谷重松が編み出した囃子の流派で、「じゅうま」は重松の愛称です。幕末から明治以降、所沢を中心として多摩地域にかけて広まり、行商のため近郷近在を歩いた重松が先々で囃子を伝授したと伝えられています。現在は「重松流祭囃子保存会」や各地域の囃子連などによって保存・伝承されています。



岩崎獅子舞

山口の岩崎地区に伝承されている獅子舞です。毎年10月第2土曜日に瑞岩寺の境内で奉納が行われています。江戸時代初期に岩崎村を知行した宇佐美長元が1614（慶長19）年大坂冬の陣に出陣して戦功を立て、その帰途に京都へ立ち寄り3頭の獅子頭を買い求め、帰郷して村の若者に伝授したのが始まりと伝えられます。現在は、「岩崎獅子舞保存会」によって保存・伝承されています。



雛人形

埼玉県は雛人形の生産地として全国的に知られており、所沢では江戸時代末期から生産されています。現在も職人の匠の技術により一体一体が丁寧に丹精込めて制作されています。

埼玉県指定の伝統的手工芸品

特産品 & ソウルフード



所沢産の里芋は
高品質と評判



▲直売所ガイドマップ



市内にはたくさんのうどん店があり、地域の味として親しまれています。近年では（一社）所沢市まちづくり観光協会が「肉汁うどんマイスター！スタンプラリー」を開催するなど、さらなる盛り上がりを見せています。[2020（令和2）年3月終了]

なぜ所沢で焼だんご？

所沢の土地は火山灰土のため水はけが良く、水田での米の栽培が難しかったので、代わりに陸稲（おかば）が栽培されていました。陸稲とは畑地でも栽培できる稲ですが、水稲にくらべると味は劣り食感もぼそぼそ。そこで、これをおいしく食べるため昔の所沢の人々は知恵を絞って、粉にひいて蒸す、焼だんごを作りました。以降、農作業の合間のおやつとして食べられるようになり、時代が変わった今も所沢のソウルフードとして親しまれています。

所沢ブランド特産品

それは“所沢らしさ”を追求した逸品

所沢ブランド特産品公式ウェブサイトでは、商品や販売店を紹介しているほか、事業者が商品の魅力を語る動画やSNSへのリンク機能も掲載しています。
URL: <https://www.tokorozawa-brand.jp>



所沢ブランド特産品とは？

“所沢”を発信できる魅力的な逸品として市が認定した商品で、所沢の農産物や文化・伝統・風習などを活かした和菓子・洋菓子・地酒・地ビール・工芸品などの個性豊かな商品が認定されています。



DRINK



SWEETS